

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 内容 (Content). Rows include: 施設名称 (鶴見緑地ほか6施設), 施設所管課・担当 (建設局公園緑化部調整課公園活性化担当), 条例上の設置目的 (市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。), 業務の概要 (鶴見緑地・鶴見緑地馬場・鶴見緑地パークゴルフ場・むらさき亭・咲くやこの花館・陳列館ホール・水の館ホールの管理運営・維持管理に関する業務...), 成果指標 (公園及び各有料施設の利用者満足度、各有料施設の利用者(件)数又は利用率(年間)、公園来園者数(2026年度までに)), 数値目標 (公園及び各有料施設の利用者満足度 85%以上, 咲くやこの花館(利用者数) 233,000人以上, 陳列館ホール(利用率) 30%以上, 水の館ホール(利用率) 45%以上, むらさき亭(利用率) 20%以上, 鶴見緑地馬場(利用者数) 57,800人以上, 鶴見緑地パークゴルフ場(利用者数) 29,500人以上, 公園来園者数(2026年度までに) 5,500,000人以上), 指定管理者名 (鶴見緑地スマイルパートナーズ【構成員】大和リース(株), (一財)大阪スポーツみどり財団, 美津濃(株), ㈱ウエルネスサプライ, ㈱エルミオーレ, 三菱電機ビルソリューションズ(株), 大和ライフネクスト(株)), 指定期間 (令和2年4月1日～令和22年3月31日), 評価対象期間 (令和5年4月1日～令和6年3月31日).

2 管理運営の成果・実績

Table with 8 columns: 成果指標, 来園者数(鶴見緑地), 利用者数(咲くやこの花館), 利用率(陳列館ホール), 利用率(水の館ホール), 利用率(むらさき亭), 利用者数(鶴見緑地馬場), 利用者数(パークゴルフ場). Rows include: 数値目標, 年度実績, 達成率.

Table with 8 columns: 成果指標, 利用者満足度(鶴見緑地), 利用者満足度(咲くやこの花館), 利用者満足度(陳列館ホール), 利用者満足度(水の館ホール), 利用者満足度(むらさき亭), 利用者満足度(鶴見緑地馬場), 利用者満足度(パークゴルフ場). Rows include: 数値目標, 年度実績, 達成率.

※陳列館ホール、水の館ホール、むらさき亭における利用者満足度の年度実績については、利用団体向けに実施したアンケート結果を示している。

利用状況

Table with 10 columns: 利用状況, 鶴見緑地(来園者数), 咲くやこの花館(利用者数), 陳列館ホール(利用件数, 利用率), 水の館ホール(利用件数, 利用率), むらさき亭(利用件数, 利用率), 鶴見緑地馬場(利用者数), パークゴルフ場(利用者数). Rows include: 当年度, 前年度, 前年度比(差).

令和5年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	615,672,581	669,155,817	-29,697,937	業務代行料と相殺する公園使用料相当額の増
	計画	645,370,518	648,916,470		
利用料金収入	実績	155,798,561	153,591,921	1,318,261	陳列館ホール、水の館ホール及びむらさき亭の利用件数の増や自主事業の実施による利用率の増
	計画	154,480,300	151,907,300		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	688,620,708	573,219,642	132,742,027	車での来園者が大幅に増加したことによる駐車場収入の増
	計画	555,878,681	532,662,681		
合計	実績	1,460,091,850	1,395,967,380	104,362,351	
	計画	1,355,729,499	1,333,486,451		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	247,667,751	248,339,307	58,575,751	労務単価及び最低賃金の上昇による増
	計画	189,092,000	189,189,000		
物件費	実績	939,268,843	932,598,977	-28,850,741	原材料価格、エネルギーコストなどの上昇に伴い光熱費は増加したものの、簡易修繕の直営化による修繕費や管理用資材の再利用化によって購入費及びごみ処分費などが減少したため
	計画	968,119,584	951,592,584		
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	481,430,983	261,018,322	205,830,586	アルペンアウトドアーズの施工に際し生じた汚染土の処分費による増
	計画	275,600,397	266,351,397		
合計	実績	1,668,367,577	1,441,956,606	235,555,596	
	計画	1,432,811,981	1,407,132,981		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数(鶴見緑地)	—	—	2026年までの数値目標であるため
利用者満足度(鶴見緑地)	115.4%	A	
利用者数(咲くやこの花館)	97.1%	B	
利用者満足度(咲くやこの花館)	115.5%	A	
利用率(陳列館ホール)	99.3%	B	
利用者満足度(陳列館ホール)	108.2%	B	
利用率(水の館ホール)	131.3%	S	イベント等での利用件数の増や自主事業の実施による利用率の増のため
利用者満足度(水の館ホール)	107.1%	B	
利用率(むらさき亭)	77.0%	C	長引く需要の低迷のため
利用者満足度(むらさき亭)	108.2%	B	
利用者数(鶴見緑地馬場)	101.9%	B	
利用者満足度(鶴見緑地馬場)	112.9%	A	
利用者数(パークゴルフ場)	100.4%	B	
利用者満足度(パークゴルフ場)	106.6%	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、各施設での節電によるエネルギー使用量の削減、備品の再利用による購入費の削減、一般園地の維持管理により発生した落ち葉の一部を腐葉土として利用することにより廃棄物の排出量を抑える取り組みなど、経費削減に努めていた。	B	利益配分金なし

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 風車の丘の風車下の未活用地に花の植栽（ミュレンベルギア・寒咲きナノハナ）を実施し、魅力向上に努めた。 来園者の多い大芝生やクスノキ通りの除草を仕様書以上の回数で実施し、来場者の満足度向上に努めていた。 大阪府の助成を受けた「都市緑化を活用した猛暑対策事業」として鶴見緑地駅前広場のサンクンガーデンをリニューアルし、温度抑制ベンチの設置及び壁面緑化等の植栽を実施し、利用者の憩いの空間を創出した。 利用者の多い第2運動場北側遊具広場内遊具や公園灯ポール、駅前広場手摺の塗装を実施し、長寿命化及び景観向上を図っていた。 つるみっこパーク内ブランコ下に水溜まりが出来ないように人工芝を設置し、雨天後においても利用ができるようにした。 毎朝、早朝ラジオ体操をされている市民有志団体と連携し、ラジオ体操後に清掃活動を実施したことに加え、新たに毎週土曜日の朝にランニングをしている団体とも連携して清掃活動を実施し、環境対策に努めていた。 咲くやこの花館においては、大屋根改修工事を実施する間も安全対策や利用者への対応に努めながら事故なく運営を実施した。
事業計画の実施状況	B	<ul style="list-style-type: none"> 園内移動サービス「つるモビ」の座り乗りタイプを導入し、園内の回遊性の更なる向上を図った。 咲くやこの花館については、引き続き「虫を食べる植物展2023」、「熱帯フルーツ展」、「Sakuya Green Jam! 植物販売会イベント」などのイベントで利用者の増加を図っており、新たにNHK連続テレビ小説「らんまん」に関連した牧野博士に関する様々な企画展やワークショップ、「インドネシアフェスティバル」、「オオサカきのこ大祭」などを開催した。 また、御堂筋で育ったスイカを本市と連携して展示（延べ参加者数：15,670人、令和5年10月20日～11月5日開催）し、来館者の要望に答え「ど根性スイカを切ってみる会」（令和5年11月11日）を開催した。 鶴見緑地パークゴルフ場については、大会や団体利用の開催予定日等の情報を掲示することで混雑日時の見える化を図っている。 また、旅行会社からの情報収集や簡易翻訳アプリを活用するなど、積極的なインバウンド対応を行っている。 陳列館ホール、水の館ホール及びむらさき亭については、空き情報の見える化や予約情報の更新を迅速に行い、SNSによる情報発信を積極的に行っている。 鶴見緑地馬場については、引き続き鶴見緑地一般園地内への出張イベントを実施し、公園の一般利用者にも馬と触れ合う体験をしてもらうことで鶴見緑地馬場の認知度を高め、リピーターの増加に繋がった。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が中心となって地域の様々なステークホルダーと協議を行う場である「鶴見緑地ぶらっとフォーム」を活用し、夜間は閉鎖している山のエリアの一部を開園する「ナイトピクニック」内にて手持ち花火コーナーの企画など、地域の要望に応える取り組みを行っていた。 昨年度に引き続き、各施設でイベント等を実施する際に、鶴見消防署やこどもホスピスなどの周辺施設及び市内類似施設と連携して企画・運営を行った。 鶴見ノ森迎賓館で挙げた結婚式の二次会をBOTANICAL HOUSEで開催できる連携を行った。
社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する取組みについては、研修の実施に加え、各社の個人情報保護規定に則り、適切に実施していた。 就職困難者の雇用状況については、法定対象外の構成員を除く全ての構成員が障がい者雇用率の基準値を達成した。 環境保護対策の取組みについては、落ち葉などの腐葉土化、フードロスゼロ、ごみの減量化、ペーパーレス化、クールビズ、植物多様性保全拠点園事業など、着実に実施していた。 園内で大型イベントを開催する際、イベント事業者へごみステーションの設置及びごみの分別回収を徹底させていた。 鶴見緑地フェスタにて2025大阪・関西万博機運醸成のための企業出店を誘致した。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

・ハード事業としては、令和4年度に整備が完了したBOTANICAL HOUSE、スターバックスコーヒー店及びコマダ珈琲店が園内の飲食施設として定着し、多くの利用が見られた。
 令和5年度は新たにアルペンアウトドアーズ（令和5年12月22日開業）、BOTANICAL HOUSE対岸の夜間ライトアップ（令和6年3月30日開始）、日本庭園の景観改善（令和5年9月実施）などに取り組んでおり、利用者の増加、回遊性及び利便性の向上を図っている。
 ・ソフト事業としては、毎週日曜に定期的に開催している「せせらぎマルシェ」（延べ参加者数：86,017人）、「はらぺこCIRCUS」（延べ参加者数：126,800人、令和5年5月3日～令和5年5月7日開催）、「鶴見緑地フェスタ」（延べ参加者数：40,000人、令和5年11月3日・4日開催）に加えて、新たに「咲くやこの花館弾き語りコンサート」（延べ参加者数：253人、令和5年6月25日）に取り組みしており、豊かな獨創性を発揮し、賑わいの創出を図っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

・一般園地については、来園者にアンケートを実施し、64.4%が「満足」、33.7%が「やや満足」の評価を得ている一方、「トイレが汚いことがある」などの意見を受けた。
 ・咲くやこの花館については、「満足」が64.6%、「やや満足」が33.6%の評価を得ており、「植物の手入れが行き届いている」や「フラワーツアーがおもしろかった」との意見を受けた。
 ・陳列館ホール、水の館ホール及びむらさき亭については、「やや満足」以上の評価が92%となっているが、設備の老朽化などに関する意見を受けた。
 ・鶴見緑地馬場については、68.0%が「満足」、28.0%が「やや満足」という評価を得ており、「乗馬レッスンに参加することが楽しみ」や「乗馬を初めて運動不足の解消になった」との意見を受けた。
 ・鶴見緑地パークゴルフ場では40.2%が「満足」、50.4%が「やや満足」という評価を得ている一方、「土日祝等の混雑度合いや時間帯が事前に分からない」との意見を受けた。

6 外部専門家意見

・ナイトピクニック等、夏場の公園の夜間利用を促進する取組みを行っていることは非常に評価できる。
 ・また、魅力向上事業としてハード整備を行った飲食施設を活かし、園内施設間で連携を図っていることも非常に評価できることから、最終評価における加点が認められる。
 ・引き続き経費削減に努めるとともに、プラットフォームを運営し、地域の様々なステークホルダーとの連携による鶴見緑地の更なる活性化や、利用者のみならず周辺住民からの意見をも反映した公園づくりを期待する。
 ・アルペンアウトドアーズはアウトドア用品店としてだけでなく、園内各施設と連携し、鶴見緑地の魅力を更に向上させるような運営を行ってほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・前年度より利用者数が微減した施設もあるものの、前年度より目標数値を上げた中で概ね達成していることから評価できる。
市費の縮減	B	・アルペンアウトドアーズの施工に際し生じた汚染土の処分費等の影響が大きく、大阪市への利益配分までは至らなかったが、環境にも配慮した経費削減の取り組みを進めており、一定評価できる。
管理運営の履行状況	B+	・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理運営状況であり、評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		・魅力向上事業として整備した施設等について、鶴見ノ森迎賓館で挙げた結婚式の二次会をBOTANICAL HOUSEで開催するなど、園内施設間で連携を図っており、運営開始後も更なるサービスの向上や公園の魅力向上につながるような取組みを行っていることから評価できる。
施設の管理運営		・今後は整備した施設が鶴見緑地の園内施設として定着するような運営を行ってほしい。
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・概ね水準に達する管理状況であり、成果指標である目標も概ね達成しており、一定評価できる。